



米本 隆記 議員

住んでよかったと思える町とは

町長

住んでいることを誇れること

【米本】人口が社会増になったと喜んではいけない。今やらなければならぬのはいかに人口減少を抑えるかではないか。それが子育て支援・移住定住施策と受けとめているが、どうか。

【町長】関係交流人口の拡大が重要であり、本町を知ってもらい、来てかかわって、住んでもらうための取り組みが必要だ。

【米本】農林水産業は方向性を示してあるが、



新年度の事業推進は

商業はどう進めているのか。

【町長】企業誘致や起業も含めた町内企業の成長・発展を支援していく。

【米本】「住んでよかったと思える町」とはどんな町か。

【町長】ここに住んでいることを誇れるというところに尽きる。それには、自然や人の良さを実感し、街の魅力を話せる人が増えることではないか。

高齢者の移動方法は

町長

互助や共助で検討したい

【米本】免許返納をした人が「目的地に行く時はデマンドバスを利用するけど、帰りはタクシーを使っている。」理由を聞いてみると、「帰りに頼んでも、そこで1時間も待たなければならぬ。」「買い物して荷物があると、家まで重い。」と話された。

これでは利用が少ないのも納得できる。

本来この公共交通の目的は、交通弱者になりうる高齢者の移動手段ではなかったのか。この現状をどうするか。

【町長】現在、バス事業者やタクシー事業者

の了解をえる必要があり、自宅までは送迎ができない。高齢者に不便をかけていることは承知している。

デマンドバスをタクシー助成制度に一本化を考えたが、財政負担やタクシー運転者の確

保などの課題がある。地域自主組織を中心とした互助や共助による移動支援ができないか検討を進めたい。

デマンドバスの増便は、公共交通会議の中で話し合いたい。



交通弱者の支えになるのか、デマンドバス